

情報システム学科 令和8年度シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅲ			科目コード	12051001	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	前期	30	1	無
授業の概要・目的	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容を1年次からレベルアップさせることを目的とする。</p>					
到達目標	<p>自ら即就職活動ができるようになり、社会人として必要なマナー(期日厳守)・礼儀(挨拶状)を身に付け、早期入社ができるようにする。</p> <p>そして、漢字力・文書力を身に付け活用できる。</p>					
評価項目	<p>期末試験(65%) 出欠席(5%) 提出物(30%)</p>					
評価基準	<p>期末試験:各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。</p>					
担当教員	妹尾 潤			常勤		
実務経験者による授業	<p>システムエンジニアとして、上流工程から下流工程、運用フェーズと幅広く従事した経験を活かし、実習指導を行う。</p> <p>SE・プログラマー7年 サポート営業1年</p>					
テキスト・参考文献	<p>ビジネスマナー基本テキスト「日本能率協会マネジメントセンター」</p>					
関連科目	<p>ビジネス実務Ⅰ ビジネス実務Ⅱ</p>					
授業計画	<p>1. ビジネス文書の基本マナー ①ビジネス文書:社内文書・社外文書 ②ビジネス文書:挨拶状の書き方(暑中見舞い・年賀状・年末挨拶状など)</p> <p>2. 慶弔・贈答・会食のマナー</p> <p>3. 卒業研究準備</p>					
事前事後学習						

情報システム学科 令和8年度シラバス

科目名	情報処理技術者Ⅱ			科目コード	12035201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	前期	89	4	無
授業の概要・目的	情報処理技術者試験の取得を目指し、各分野の専門用語の確認、思考問題の強化、過去問題を中心に総仕上げを行う。					
到達目標	午前、午後分野の過去問答練を中心とした授業を行う。教師からの解説に加えて、学生同士の学び合い、アクティブラーニングを通じて全体の実力アップをはかる					
評価項目	模擬試験結果(20%) 本試験結果(75%) 出席率(5%)					
評価基準	本試験の合否、及び得点率より評価する。加えて授業中に行う模擬試験結果も評価に加える。					
担当教員	妹尾 潤			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニアとして、上流工程から下流工程、運用フェーズと幅広く従事した経験を活かし、実習指導を行う。 SE・プログラマー7年 サポート営業1年					
テキスト・参考文献	過去問題および模擬試験					
関連科目	コンピュータ概論 ネットワークセキュリティ アルゴリズム概論 IT基礎理論					
授業計画	1 対策説明 2 午前問題答練 3 午後問題答練 4 模擬試験1 5 弱点補強 6 模擬試験2 7 総まとめ 8 決起会					
事前事後学習						

情報システム学科 令和8年度シラバス

科目名	キャリアデザイン			科目コード	12024001	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	35	2	無
授業の概要・目的	社会人として必要なコミュニケーション力や知識を、グループ制作実習や企業訪問を通じて身に付けることを目的とする。					
到達目標	グループ制作における、周りとの協調性や、仕事の進め方、計画性。					
評価項目	レポート(95%) 出欠席(5%)					
評価基準	レポート: ①体験授業制作に対するレポート(計画性の振り返り、出来栄の振り返り) ②県外研修レポート(企業訪問2社)					
担当教員	妹尾 潤			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニアとして、上流工程から下流工程、運用フェーズと幅広く従事した経験を活かし、実習指導を行う。 SE・プログラマー7年 サポート営業1年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	各専攻別の授業科目全般					
授業計画	1. 導入 2. 体験授業グループ開発 3. 県外研修					
事前事後学習						

情報システム学科 令和8年度シラバス

科目名	プログラミングⅣ			科目コード	12022001	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修演習	2年	前期	60	4	無
授業の概要・目的	サーブレット・JSPの基本的な文法及び考え方を学習し、サーブレット・JSPを用いたプログラミングができるようになることを目的とする。					
到達目標	サーブレット・JSPの基本(サーブレットの基礎、JSPの基礎、フォーム、MVCモデル)の理解をしサーブレット・JSPを用いたWEBアプリケーション開発ができるようになる。					
評価項目	期末試験(90%) 授業態度(5%) 出欠席(5%)					
評価基準	期末試験:サーブレット・JSPの基本について問う科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	妹尾 潤			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニアとして、上流工程から下流工程、運用フェーズと幅広く従事した経験を活かし、実習指導を行う。 SE・プログラマー7年 サポート営業1年					
テキスト・参考文献	スッキリわかるサーブレット&JSP入門「インプレス社」					
関連科目	プログラミングⅠ プログラミングⅡ プログラミングⅢ					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. HTMLとWebページ 2. Webのしくみ 3. サーブレットの基礎 4. JSPの基礎 5. フォーム 6. MVCモデルと処理の遷移 7. リクエストスコープ 8. セッションスコープ 9. アプリケーションスコープ 10. アプリケーション作成 11. サーブレットクラスの実行のしくみとフィルタ 12. アクションタグとEL式 					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間)					

情報システム学科 令和8年度シラバス

科目名	スクリプト言語演習			科目コード	12024101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	70	4	無
授業の概要・目的	HTML、CSS、JavaScriptを活用したWebアプリケーション、Pythonを活用した業務補助ツール題材に、幅広いプログラミング力を身に付けることを目的とする。					
到達目標	HTML、CSS、JavaScriptを活用したWebアプリケーション、Pythonを活用した業務補助ツールの開発ができるようになる。					
評価項目	期末試験(90%) 授業態度(5%) 出欠席(5%)					
評価基準	期末試験:HTML・CSS・JavaScrip、Pythonを活用したシステム開発についての科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	妹尾 潤			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニアとして、上流工程から下流工程、運用フェーズと幅広く従事した経験を活かし、実習指導を行う。 SE・プログラマー7年 サポート営業1年					
テキスト・参考文献	Monacaで学ぶアプリ制作入門 仕事をはかどるPython&Excel自動処理全部入り					
関連科目	プログラミング I HTML・CSS プログラミング演習					
授業計画	1, アプリ開発入門 2, HTML入門 3, CSS入門 4, JavaScript入門 5, 条件分岐 6, 関数 7, イベント 8, DOM 9, フォーム 10, いろいろな演算子 11, 配列 12, 繰り返し 1. 導入(VSCodeとPythonのインストール) 2. 基本文法 3. PythonによるExcel基本操作 4. PythonによるExcel見た目操作、グラフによるデータ可視化 5. PythonによるExcel応用操作 6. ライブラリでテキストデータ処理自動化 7. ライブラリでデータ収集自動化					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間)					

情報システム学科 令和8年度シラバス

科目名	システム開発Ⅱ			科目コード	12014301	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修演習	2年	前期	60	4	無
授業の概要・目的	UMLを用いたシステム設計手法で、要求内容から、適切な情報を抽出し適切な手法で設計書を作成できることを目的とする。					
到達目標	テキストの演習課題を通して、設計フェーズで登場する様々な図の書き方、意味を学びます。演習の内容を自分なりの考えを持って解釈し、適切な設計手法を選択できるようになる					
評価項目	期末試験(95%) 出欠席(5%)					
評価基準	期末試験:設計フェーズで登場する様々な図の書き方や意味、自分なりの考えを問う科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	藤浦 理恵			非常勤		
実務経験者による授業	大手企業で、SEとして長年システム設計業務に従事した経験を活かし、実務に則した指導を行う。					
テキスト・参考文献	Javaシステム開発技法JデータベースCプログラミング/UML「インフォテックサーブ」					
関連科目	システム開発Ⅰ システム開発Ⅲ					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オブジェクト指向開発入門 2. 要件定義とダイアグラム 3. オブジェクト指向分析のダイアグラム① 4. オブジェクト指向分析のダイアグラム② 5. その他のダイアグラム 					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:5時間)					

情報システム学科 令和8年度シラバス

科目名	システム開発Ⅲ			科目コード	12014401	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修演習	2年	前期	60	4	無
授業の概要・目的	仕様書の解析、コーディング、テストの流れを理解し、仕様書から適切な情報を読み取り、プログラミングを行うことができることを目的とする。					
到達目標	テキストの演習課題を通して、ユーザ要求、設計書、プログラミングのつながりを理解し、実務に即した知識を学習する。要求内容から、設計書作成、コーディング、テストまでができるようになることを期待する。					
評価項目	期末試験(95%) 出欠席(5%)					
評価基準	期末試験:仕様書から適切な情報を読み取り、プログラミングを行う科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	藤浦 理恵			非常勤		
実務経験者による授業	大手企業で、SEとして長年システム設計業務に従事した経験を活かし、実務に則した指導を行う。					
テキスト・参考文献	Javaシステム開発演習「インフォテックサーブ」					
関連科目	システム開発Ⅰ システム開発Ⅱ					
授業計画	1. ソフトウェア要件定義 2. ソフトウェア方式設計 3. ソフトウェア詳細設計 4. ソフトウェアコード作成及びテスト					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:5時間)					

情報システム学科 令和8年度シラバス

科目名	システム開発実践			科目コード	12022801	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修演習	2年	前期	60	4	有
授業の概要・目的	システム開発の一連の工程を経験することで、開発の要点や独力で開発を進める技術力を身に付け、卒業研究につなげる。また、チームで開発を行うことでチームワークを身につけることを目標とする。					
到達目標	チーム内で相談して制作物を企画し、役割分担して開発を進める。各自主体的に役割を持ち、積極的に参加することを期待する。					
評価項目	制作物(30%) レポート(60%) 授業態度(5%) 出席点(5%)					
評価基準	制作物:チーム内で開発した制作物。 制作物:制作物のレビューを行いアウトプットする。その結果により評価する。 レポート:チーム内での役割をふまえて制作にどう関わったかをレポートにまとめ評価する。					
担当教員	株式会社システムエンタープライズ			非常勤		
実務経験者による授業	岡山県に本社を置くソフトウェア開発・ITソリューション企業です。金融・教育・医療など幅広い分野でシステムコンサルティングや受託開発を行っている。					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	システム開発Ⅰ システム開発Ⅱ システム開発Ⅲ					
授業計画	1, 導入 2, 第1回課題説明・キックオフ 3, 第1回課題開発 4, 第1回課題レビュー 5, 第1回課題レビュー後修正 6, 第1回課題再レビュー 7, 第2回課題説明・KPT 8, 第2回課題開発 9, 第2回課題レビュー 10, 第2回課題レビュー後修正 11, 第2回課題再レビュー＋総括					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間)					

情報システム学科 令和8年度シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅳ			科目コード	12051101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	30	1	無
授業の概要・目的	1年次で学んだ一般常識、マナーの知識を活かし、さらなるレベルアップを目指すため、該当する検定を受験する。 この知識と今までの授業や実習などで得た知識を活かし、就職活動に挑む強い心を育む。 また、社会人としての心構えを身につける。					
到達目標	任意検定の受験 ①社会人常識マナー検定 ②ビジネス文書検定 ③秘書検定 ④漢字検定					
評価項目	期末試験(95%) 出欠席(5%)					
評価基準	期末試験:各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。					
担当教員	妹尾 潤			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニアとして、上流工程から下流工程、運用フェーズと幅広く従事した経験を活かし、実習指導を行う。 SE・プログラマー7年 サポート営業1年					
テキスト・参考文献	プリント対応					
関連科目	ビジネス実務Ⅰ ビジネス実務Ⅱ ビジネス実務Ⅲ					
授業計画	1. テーブルマナー 2コマ 2. 検定対策 10コマ ①社会人常識マナー検定 ②ビジネス文書 ③秘書検定 ④漢字検定					
事前事後学習						

情報システム学科 令和8年度シラバス

科目名	サーバ環境構築応用			科目コード	12024201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修演習	2年	前期	60	4	無
授業の概要・目的	Linuxの基本的なコマンド操作およびサーバ構築ができる。 シェルスクリプトによるバッチ処理も学ぶ。					
到達目標	仮想環境を用いてLinuxOSをインストールし、コマンドラインを用いて様々な設定ができる。 Linux Level1に合格できるレベルの知識とスキルを習得できる。					
評価項目	期末試験(70%) 確認テスト(25%) 出席率(5%)					
評価基準	授業で学んだLinux及びその操作に関する基本的な技術を理解しているかについて筆記試験を実施する。その結果により評価する。					
担当教員	赤木 伸			非常勤		
実務経験者による授業	1982年-1987年制御系SEとして、大型プラント作成に従事。1987年-1989年情報提供システム構築にユーザ側SEとして従事。1989年-専門学校システムの構築、運営に従事。					
テキスト・参考文献	基礎からしっかり学ぶ Linux入門「技術評論社」					
関連科目	Linux I					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Linuxの基本 2 bashシェルの基本 3 ファイルとディレクトリ 4 vimの利用 5 応用的なファイル操作 6 アカウントの管理 7 パーミッションとユーザー権限の切り替え 					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:5時間)					

情報システム学科 令和8年度シラバス

科目名	クラウド環境構築演習			科目コード	12022901	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修演習	2年	前期	60	4	無
授業の概要・目的	IT業界でもニーズの高いAWS(Amazon Web Services)のプラットフォームを活用したWebシステムの開発技術を習得する。					
到達目標	S3、EC2(Apache+Mariaデータベース+PHP)など主要な環境を構築できる。					
評価項目	期末試験(95%) 出欠席(5%)					
評価基準	期末試験:クラウド環境構築について問う科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	近藤 進介			常勤		
実務経験者による授業	ミドルウェア、IaaSシステムの開発8年					
テキスト・参考文献	ゼロからわかるAWS超入門「技術評論社」					
関連科目	ネットワーク演習					
授業計画	1: AmazonWebServicesとは何か 2: AWSをはじめよう 3: Webサイトの公開 4: LAMPサーバーでWordPressを動かす 5: データベースの活用					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:5時間)					

情報システム学科 令和8年度シラバス

科目名	サーバ・セキュリティ		科目コード	12023001		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修演習	2年	前期	60	4	無
授業の概要・目的	ネットワークやサーバーの運用・管理に必要な知識を身に付ける。 障害対策やセキュリティ面の知識・技術を身に付け、セキュリティ意識の高いエンジニアになる基礎を身に付ける。					
到達目標	サーバーの種類を理解。 社内サーバー運用における知識を修得し、簡易的な環境構築が出来る。 クラウド上に環境構築することが出来る。					
評価項目	期末試験(95%) 出欠席(5%)					
評価基準	期末試験:サーバ、ネットワーク、セキュリティについて問う科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	長瀬 宗二			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニア32年。内高専の非常勤講師6年					
テキスト・参考文献	この一冊で全てわかるサーバーの基本第2版「SBクリエイティブ」					
関連科目	ネットワーク演習					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーとは 2. ネットワークの基礎知識 3. サーバーを用意する 4. 社内サーバーの基本 5. 公開サーバーの基本 6. サーバーを障害から守る 7. サーバーのセキュリティ 					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間)					

情報システム学科 令和8年度シラバス

科目名	システムエンジニア実践			科目コード	12024301	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修演習	2年	前期	60	4	有
授業の概要・目的	ITシステムの運用業務について職種の概要から実業務、必要となるスキル・基礎知識を取得する。					
到達目標	運用業務及びシステムエンジニアの業務を学び、システム開発だけでなく、運用も含めたシステムライフサイクル全体を理解する。					
評価項目	制作物(30%) レポート(60%) 授業態度(5%) 出席点(5%)					
評価基準	レポート:グループにて行ったシステム提案作成について、個人の役割、実績、グループ全体での実績、所感、まとめについて総括レポートを作成し、理解を深める。 課題提出:各授業で行われる単元別の課題を提出して理解をはかる。					
担当教員	株式会社日本テクノス			非常勤		
実務経験者による授業	ICTサポートサービスとシステム運用を中核事業とするシステムインテグレーターです。創業以来、多業種に向けたシステムの監視・保守・運用支援、そしてシステムエンジニアの育成事業を展開しています。					
テキスト・参考文献	独自開発テキスト					
関連科目	システム運用概論					
授業計画	1, 導入 2, 第1回課題説明・キックオフ 3, 第1回課題開発 4, 第1回課題レビュー 5, 第1回課題レビュー後修正 6, 第1回課題再レビュー 7, 第2回課題説明・KPT 8, 第2回課題開発 9, 第2回課題レビュー 10, 第2回課題レビュー後修正 11, 第2回課題再レビュー＋総括					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間)					

情報システム学科 令和8年度シラバス

科目名	情報処理技術者Ⅲ			科目コード	12035301	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	83	4	無
授業の概要・目的	情報処理技術者試験の取得を目指し、各分野の専門用語の確認、思考問題の強化、過去問題を中心に総仕上げを行う。					
到達目標	午前、午後分野の過去問答練を中心とした授業を行う。教師からの解説に加えて、学生同士の学び合い、アクティブラーニングを通じて全体の実力アップをはかる					
評価項目	模擬試験結果(20%) 本試験結果(75%) 出席率(5%)					
評価基準	本試験の可否、及び得点率より評価する。加えて授業中に行う模擬試験結果も評価に加える。					
担当教員	妹尾 潤			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニアとして、上流工程から下流工程、運用フェーズと幅広く従事した経験を活かし、実習指導を行う。 SE・プログラマー7年 サポート営業1年					
テキスト・参考文献	過去問題および模擬試験					
関連科目	コンピュータ概論 ネットワークセキュリティ アルゴリズム概論 IT基礎理論					
授業計画	1 対策説明 2 午前問題答練 3 午後問題答練 4 模擬試験1 5 弱点補強 6 模擬試験2 7 総まとめ					
事前事後学習						

情報システム学科 令和8年度シラバス

科目名	卒業研究			科目コード	12011401	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	250	4	有
授業の概要・目的	2年間の集大成として、今まで学習したシステム開発に関する知識、スキルを活用し、他学科や企業を巻き込んだテーマに沿ったシステムの企画提案及び開発を実施する。					
到達目標	企画～開発、環境構築、プレゼンテーションまでをチームで協力して納期までに完成させる。教師は成果物のレビューやアドバイスをを行うが、基本的には学生が主体的に開発を完遂させることを求める。					
評価項目	制作物50% プレゼンテーション25% レポート20%) 出欠席(5%)					
評価基準	システム設計や開発技術で学んだことを実践できているか、チーム内での動き方、最終的な制作物で評価を行う。					
担当教員	妹尾 潤			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニアとして、上流工程から下流工程、運用フェーズと幅広く従事した経験を活かし、実習指導を行う。 SE・プログラマー7年 サポート営業1年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	ここまで学習した全ての科目					
授業計画	開発実習					
事前事後学習						